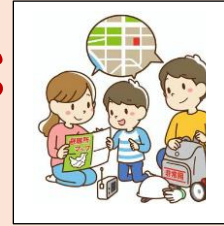


そなえる まつなみ

第1号



発行／松波自主防災会 千葉市中央区松波 2-22-35 松波会館内 2022年4月

みなさんこんにちは。2月末から千葉県はたびたび地震に見舞われていますね。それから1か月で、県内で震度1以上の地震が49回も観測されたと言います。そして1月1日の能登半島から始まり、福島・茨城・岩手、台湾、そして4月17日には四国の震度6。そんな中、松波に住む方々の日ごろからの防災意識を高めるため、これから防災にかかわる情報をお伝えしてゆきます。どうぞよろしくお願ひします！

●災害から見た松波は？—まず松波の特徴を知る

では、災害から見た松波はどんなところでしょう？ 「千葉市防災ポータルサイト」→「千葉市地震・風水害ハザードマップ」→「地震に関するマップ」「風水害に関するマップ」と追っていくと、松波で起きそうな災害の特徴が地図で出てきます。

★地震の揺れやすさ—「0.8～1.0」は、揺れやすさは上から2番目！

「千葉市防災マップ」によると、地面の表層地盤の揺れやすさでは、「0.8～1.0」という上から2つ目のランクに位置づけられています。「揺れやすい」地域です(図)。

★地震による被害—建物被害率20%以上！

「千葉市地震ハザードマップ」は、千葉市直下地震(マグニチュード7.3、全市域の約5割が震度6強)による建物の被害率で、最悪となるのが「冬の夕方6時発生、その時の風速が8メートル」という場合での数字ですが、その最悪のパターンでどのくらいの被害が出るか想定したものです。

それによると、松波は3・4丁目の多くがもっとも被害が大きいとされる「建物被害率20%以上」、1丁目の千葉駅寄り、2丁目の西千葉駅寄りが「10%以上」とされています。住宅密集地ゆえの被害の大きさということでしょうか。

